

【お知らせ】～『語りの祭り』イベント第2弾～

篠笛と語りのゆうべ

ご来場をお待ち
しています

2004年7月17日(土) 18:30開場 19:00開演

会 場 修禅寺檀信徒会館(修禅寺境内) ※入場無料

語りキャラバン報告!

6月16日修善寺南小でも行われました!

語り『おかち婆さんのはなし』『アナンシと五』『かえるぼたもち』のほか読み聞かせや紙芝居を楽しみました。6月は修善寺小・修善寺東小・狩野小・湯ヶ島小へさまざまな語り手が訪問しました。



静岡県の昔話 ④ ～『お乳女^{ちいじょ}の観音さん』～



中伊豆大見村の千代がかわいい女の子を生ましました。

ところが明日はお七夜という晩、赤ん坊はあっ気なく

あの世へ旅立ってしまいました。飲んでくれる子を失った千代の乳房は、ぱんぱんに張りました。

そんなある日、千代は何かにとりつかれたように家を飛び出すと、柏峠を越え伊東の鎌田村に向かいました。千代は赤ん坊の泣き声を耳にして、一軒の家の前で足を止めました。

<お入り>とも言われないのに勝手に中へ飛び込んだ千代。

囲炉裏端ではお乳の出ないおっ母さんが、すり鉢をひざではさみ水で浸した米をすりつぶしていました。千代は、そばに寝かされ泣き叫んでいる赤ん坊を抱き上げると、お乳を含ませました。やがて、穏やかに眠る赤ん坊。

千代は次の日から毎日赤ん坊のもとへ通います。

やがて冬。その日、昼過ぎから降り出した雪。

千代は、おっ母さんが止めるのも聞かず、降りしきる雪の峠道を登ります。雪がやんで数日後、峠の手前で雪に埋もれている千代を通りがかった旅人が見つけます。鎌田村の人たちはそこに石の観音さんをたてました。観音さんはいつか『お乳女(ちいじょ)の観音さん』と呼ばれるようになり、お乳の出ない人がお参りに訪れるようになりました。

再話・山本 悟(伊東市在住)『鎌田今昔アラカルト』より

お問い合わせは、

修善寺図書館 0558-72-9868 までどうぞ!

『語りの祭り』情報は、

<http://www.shuzenji.jp/npo/katari/index.htm>

にも掲載されていますので、御利用ください。

編集後記

私たち二人も語りキャラバンに参加しました。いつもと違う場所で、ほかの地域の方の語りも楽しむことができました。

『篠笛と語り』は、どんなかな!

(Y) (K)